

第六十二回
帝國議會
貴族院

柳河軌道株式會社所屬軌道補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第一號

付託議案

柳河軌道株式會社所屬軌道補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案

委員氏名

委員長 侯爵徳川 賴貞君
副委員長 子爵新庄 直知君
伯爵酒井 忠克君
子爵綾小路 護君
男爵中村 謙一君
青木 周三君
阿部房次郎君
芳賀 茂元君
八馬 兼介君

昭和七年六月十一日(土曜日)午後一時四十八分開會

○委員長(侯爵徳川賴貞君) ソレデハ是ヨ

リ委員會ヲ開會イタシマス、皆サンニ御異議ガゴザイマセヌデシタラ、政府ノ御説明ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ如何デスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○國務大臣(三土忠造) 先般來議場ニ於

キマシテ提案ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲテ置キマシタガ、此場合少シ詳細ニ互ニ申上ゲタイト存ジマス、柳河軌道ハ鹿兒島本線ノ矢

部川驛カラ柳河ヘ參リマス延長四哩四分即チ七「キロメートル」ノ軌道デアリマスガ、軌間ハ三呎デ、動力ハ蒸氣ト「ギヤソリン」ヲ併用シテ居ル所デアリマス、省線ノ佐賀線ハ矢部川驛カラ佐賀ヘ參リマス豫定線デアリマスガ、其中、矢部川驛カラ筑後矢部川驛迄ハ昨年九月二十四日ニ開通イタシマシタ、省線ノ方ハ軌道ニ較ベマシテ運賃ガ安イバカリデナク時間モ短縮サレマシタ爲ニ、省線ト接近並行シテ居ル柳河軌道ハ非常ナ影響ヲ受クルニ至「タ」ノデゴザイマス、即チ省線開通後百五十日間ノ實績ニ依リマスト、前年同期ニ比ベマシテ、客車人員約五割五分、貨物噸數約七割七分減少イタシマシタ、從テ運輸收入ニ於テ約六割三分ノ減少ヲ來シテ居ルノデアリマス、是ハ僅ニ百五十日間ノ成績デゴザイマシテ、今後引續キ營業ヲ繼續イタシマスルナラバ、收入ハ一層減ル見込デアリマスケレドモ、假ニ只今申上ゲマシタ打撃ノ割合デ、一箇年ノ營業收入ヲ推定シテ見マスト、約二万五千七百圓ト云フコトニナツテ居リマス、次ニ營業費ニ付キマシテハ、收入ト違ヒマシテ、省線開通後百五十日間ノ減少割合ヲ計算スル

コトハ容易デゴザイマセヌシ、又一箇年間ニ於ケル減少割合ヲ推定スルコトモ困難デゴザイマスカラ、假ニ省線開通前ノ實績カラ三割ヲ減ズルモノト致シマスト、約三万三千八百圓トナリマシテ、之ヲ營業收入カラ差引キマスト、八千圓バカリノ缺損ニナツテ居リマス、尙ホ此營業費ノ三割減ト申スコトハ唯計算上用キマシタ假定デゴザイマシテ、斯様ニ減ルト云フコトハ事實ニ於テハ殆下不可能トモ思ハレルノデアリマス、所ガ柳河軌道ハ從來非常ニ良イ營業成績ヲ續ケテ居「タ」ノデゴザイマシテ、試「ミ」ニ省線開通前一箇年間ノ營業實績ヲ申上ゲマスト、其益金ハ約二萬圓デアリマス、建設費ニ對シ、實ニ二割ニ當リマス、長一箇一割以上ノ配當ヲ續ケテ居「タ」ノデゴザイマス、斯様ニ良イ營業成績ヲ持續イタシマシタ會社ガ將來缺損トナリマスノハ、畢竟省線ガ柳河軌道ニ接近併行シテ建設サレタ爲メデアリマシテ、會社ハ此後引續イテ其營業ヲナスコトハ困難デアリマスルシ、又一面ニ於キマシテハ本軌道ノ營業廢止ヲ許可イタシマシテモ、沿線ノ地方民ハ他ノ交通機關ヲ利用シ得ル便モアルノデアリマスカラ、

今年ノ一月二十九日全線ノ營業廢止ヲ許可イタシタヤウナ次第デアリマス、就キマシテハ此營業廢止ニ依「テ」生ズル損失ヲ補償スル必要ガアリマスノデ、茲ニ公債發行ニ關スル法律案ヲ提出イタシタノデゴザイマス、尙ホ補償金額ニ付テ申上ゲマスルト、法律ノ規定ニ依リマシテ計算シマシタ限度ハ約三十四萬四千圓デアリマシテ、此金額以內デ政府ガ決定スルコトニナツテ居リマス、ソレデ此三十四萬四千圓ト省線開通ノ日ニ於ケル建設費ノ國債換算額約十一萬四千圓トノ合計ヲ折半イタシマシテ二十二萬九千四百圓ヲ限度トシテ補償スルコトニナリマシテ、其公債ヲ發行イタシタイト思フ次第デアリマス、是ガ此案ノ大要デアリマ

ス

○委員長(侯爵徳川賴貞君) 御質問ハゴザイマセヌカ

○子爵新庄直知君 殘存物件ノ價額ヲ御見積リニナツタ大體ノ計算ハ御分リデゴザイマスカ

○政府委員(喜安健次郎君) 殘存物件ノ見積リ價額ハ現金ノ勘定デ二萬二千四百圓トナツテ居リマス、其内譯ノ大體ヲ申上ゲマス

レバ、土木關係、橋梁トカ軌道……「レール」デゴザイマス、古枕木トカ、サウ云フヤウナモノ、ソレカラ停車場ノ建物、サウ云フヤウナモノ、合計六千二百圓、ソレカラ

車輛關係、機關車、客車、「ギヤソリン」客車、貨車、此車輛關係ノモノガ一万四千圓ソレカラ其外ニ事務所ニ備ヘ付ケテアリマス備品デアルトカ、工場ノ……工場ト申シ

シテモ大キナモノデハゴザイマセヌ、修繕場ニ使ヒマスル色ミナ器具器械類、サウ云フヤウナモノガ千七百九十圓、合計二万二千四百圓餘ニナッテ居リマス

○子爵新庄直知君 モウ一ツ伺ヒタイデスガ、此柳河軌道ハ總テ併用道路ニナッテ居リマスカラ、專用道路ニナッテ居リマス

○政府委員(喜安健次郎君) 全部併用道路デゴザイマス、唯柳河町ニ近イ所ニ橋ガゴザイマス、其橋梁ハ數年前ニ道路ノ橋ト離シマシテ専用橋ニ致シマシタ、其前後ガチヨット専用ニナッテ居ルダケデゴザイマシテ、アトハ全部併用デゴザイマス

○阿部房次郎君 チヨット一ツ伺ヒタイノデスガ、此參考書ニ依リマス、五箇年間ノ利益ガ平均一割八分六厘何ボニナッテ居リマシテ、此會社ハ相當ニ成績ノ舉ッテ居ル會社ノヤウニ只今ノ御説明ニ依リマシテ

伺ヒマシタガ、此會社ノ株式ノ時價ハ一體何程……五箇年間デナクテモ宜シイ、最近

デモ宜シイガ、ドノ位ニナッテ居リマスカ、或ハ或時期ノ平均ダケデ宜シイ、本省ニ於テ御分リニナッタチヨット伺ヒタイ

○政府委員(喜安健次郎君) 此會社ハ參考書デ差上ゲテゴザイマスル通り、資本金ガ十五萬圓デゴザイマシテ、株式ガ三千株デゴザイマス、株主ノ數モ極ク少ウゴザイマシテ、柳河町邊リノ方ガ、大袈裟デゴザイ

マスケレドモ、何カ世襲財産カ公債デモ持ッテ居ルヤウニ考ヘテ、チットモ株ノ移動ガ殆ドナイサウデゴザイマス、デ、其點ニ付テ

前ニ開合セテ見タコトガゴザイマスノデスガ、殆ド株ノ動キガナイモノデスカラ、相場ハ分ラナイ、斯ウ云フ話デゴザイマス

○阿部房次郎君 モウ一ツ伺ヒタイ、是デ相當ナ……二十二萬何ンボデ御買上ゲニナッテ、相當ナ計算ニ依ッテ御見積リガ出來テ居ルコトト存ジマスルガ、此計算ニ依ッテ御買上ゲニナリマスレバ、會社初メ今申上

ゲマス株主ガ餘リ不利益ヲ受ケルヤウナコトガナイカ、ドンナコトデゴザイマスカ、其點ハ會社ガ餘リ不満足ヲ表シテ居ル譯デモナシ、株主ガ非常ニ不利益ヲ受ケルヤウナコトハゴザイマセヌデスカ

○政府委員(喜安健次郎君) 二十二萬九千圓、約二十三萬圓デゴザイマスガ、之ヲ現

金ニ換算イタシマシテ、假ニ九十圓位ト致シマスト約二十萬圓ノ現金ニナリマス、ソレカラ先程殘存物件ノ價額ヲ二萬二千圓ト申

上ゲマシタガ、其二萬二千圓ヲ加ヘマシテ、其外ニ此會社ハ四萬圓近クノ資金ヲ投ジテ自動車業ヲヤッテ居リマス、ソレモ若シ處分

スルト致シマス、恐ラク二萬ヤソコラニハナリハシナイカ、其外ニ色ミナ財産ガゴザイマスカラ、約二十五萬圓ノ現金ヲ精

算シテ配當スルコトニナリハシナイカ、其中デ從事員ノ退職手當、解散手當トカ、重役ノ手當ヲ何ガシカ引キマシテ、一株ニ割

當テマス云フト、約七十圓位ニナリハシナイカト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、御承知ノ是ハ買收デナシニ補償ト云フコトニ

ナッテ居ルモノデスカラ、會社トハ何ノ相談モシテ居リマセヌ、政府ノ方ダケデ色ミノ計算ヲシマシテ、手續ヲヤッテ居リマスルカラ、正式ニ會社ノモノニ此金額ヲ示シタコトモゴザイマセヌガ、傳ヘ聞ク所ニ依リマスルト、會社ノ者ハ満足シテ居ルト云フコトヲ傳ヘ聞イテ居ルノデアリマスガ、恐ラクソレハ此附近ニ、佐賀縣ニ二三

年前ニアタ、祐德軌道ニ補償ヲヤッタコト

ガゴザイマスガ、其時ノ補償金額ガ何デモ建設費ノ半分位、是ハ營業成績モ非常ニ惡イ軌道デゴザイマシタガ、半分位ヤッタ例

ガアルモノデスカラ、柳河軌道ハ建設費ハ十萬圓バカリデスガ、矢張り同ジヤウナ風ニ半分位貰ヘルニ過ギナイモノデナイカト

云フコトヲ、多少懸念ヲシテ居ッタルイ所ヘ、建設費ノ倍以上ノ額面デ貰ヘルヤウニナッタ其爲デナイカト思ヒマス、ソレデ満足

シテ居ルヤウナコトヲ傳聞シテ居リマス

○委員長(侯爵德川賴貞君) 他ニ御質問ハゴザイマセヌデセウカ

○男爵中村謙一君 補償金額ノ限度ト建設費ノ國債換算額ト加ヘテニデ御割リニナッテ公債ノ交付額ガ出デ居ルヤウデアリマスガ、何カ其論據ヲ御持チデゴザイマス

○政府委員(喜安健次郎君) 御承知ノ通り

補償金額ハ利益ノ平均割合ヲ建設費ニ掛ケ

マシテ、ソレヲ二十倍シタモノカラ殘存物

件ノ見積價額ヲ時價デ公債額面ニ換算シタ

モノヲ引キ、引イタ其殘リ、即チ三十四萬

何千圓ガソレ以內ニ於テ政府之ヲ定メルト

云フコトニ法律ガナッテ居ルノデアリマス、ソレデソレ以內ノ成績デ幾ラニ定メタノガ適當デアラウカト云フコトヲ考ヘテ見タノデアリマスケレドモ、別ニ斯ウ云フコトニ

スレバ非難ノ打チ所ノナイヤウナ方法ト云フモノヲ見附ケ出スコトガ出来マセヌモノデスカラ、丁度法律ニ營業成績ノ惡イモノハ建設費ヲ公債ノ時價デ換算シタモノ以內デ補償金額ヲ政府ハ定ムル、斯ウニツ標準ガ法律ノ文面上出テ居ルモノデスカラ、其ニツヲ合セテニ割ツタ位ノ所ガ妥當デハアルマイカト云フ位ナ所デゴザイマシテ、ソレ以外ニシカリシタ根據ガアル譯デハゴザイマセヌ

○男爵中村謙一君 其點ハ能ク分リマシタガ、是ハ結局先例ニナルヤウナコトニナルト思ヒマスガ、ニ割ルコトハ、若シ是ガ會社ガ缺損シテ居ル場合ニハドンナ風ニ御考ヘニナリマスガ、附加ヘテ置キマスガ、缺損ノ場合、或ハソレカラ利益金ガ建設費ニ對シテ五分ニ達シナイヤウナ場合ハ如何デゴザイマスガ

○政府委員(喜安健次郎君) 大體ニ於キマシテ缺損デナイ場合ニハ是ト同ジヤウナ方法デ將來モヤリタイ、唯缺損ノ場合ハ、例ヘバ缺損ノ割合ガ五分ト云フコトニナリマスルト「ゼロ」ニナリマシテ、補償金額ガ一厘モナイト云フコトニナルノデスカラ、サウ云フ場合ニハ或ハ少シ其處ニ手加減ヲ致シマシテ、或ハ缺損ノ時ニハ「ゼロ」常ニ「ゼロ」ト云フコトニデモシトラバドウカ知ラヌ

ト云フコトヲ考ヘテ居リマスガ、大體ニ此一分、例ヘバ一分ニナリマシテモ建設費ノ二割ダケハ加ハル譯デゴザイマスカラ、多少デモ利益ガアリマス場合ハ此方法デ宜シイト思フテ居リマスガ、缺損ノ時ハ結局「ゼロ」ニデモシナケレバ非常ニ氣ノ毒ナ結果ヲ生ジヤシナイカト思フテ居リマス

○男爵中村謙一君 是ハ補償ニハ關係ガナイノデゴザイマスガ、將來買收ノ問題ガ起ルヤウナ場合ニ於テ、補償ノ金額ノ算定ノ基礎ガサウ云フ風ナ大體ノ御見込デアルトスルト、買收ノ場合ニモ同ジヤウナ計算ノ方法ガ適用サレナイト不公平ガ起ルダラウトモ思ヒマスガ、其邊ニ付テハ如何デゴザイマスガ

○政府委員(喜安健次郎君) 買收ノ場合ニ於キマシテモ大體是ト同ジヤウナ方法デ進マナケレバナルマイト思フテ居リマス

○委員長(侯爵德川賴貞君) 御質問ハゴザイマセヌデセウカ

○男爵中村謙一君 ソレカラ此會社ハマダ自動車ヲ經營シテ居ルト云フヤウナ御話デゴザイマシタガ、或ハ此補償金額ヲ貫ヒマシテソレデ自動車ノ方ノ事業ヲ擴張シテ行クト云フ結果、ソレガ省線ニ惡イ影響ガ來ルカト云フヤウナコトニ付テ御考ハアリマセヌデスカ

○政府委員(喜安健次郎君) 此會社ハ自動車ヲ、丁度矢部川ト柳河ノ間軌道ニ併行シマシテ乗合ヲヤツテ居リマス、ソレカラ柳河カラ大牟田ノ方ヘ行キマス乗合ト、モウ一ツハ所謂「圓タク」デゴザイマスガ、貸切ノ自動車、三種類ノモノヲヤツテ居リマス、只今御尋ネノ補償金ヲ貫ヒマシテソレデ自動車ヲ擴張シテ、例ヘバ矢部川柳河間ノ自動車ヲ大イニ擴張シマスレバ、省線ノ收入ニ影響シヤシナイカト云フ御懸念ノヤウニ承リマシタノデスカ、其點ハ多少私共モ心配シテ居リマシタノデスカ、會社ハモウ此際ニ綺麗サツパリ解散シテシマヒタイ、斯ウ云フ意味カラ致シマシテ、自動車事業モ全部他所ヘ譲ッテシマッタサウデゴザイマス、デモ此補償金ヲ貫ヒマスレバ直グニモウ解散シテ清算ラシタイ、斯ウ云フ心組デ居ルサウデゴザイマス

○伯爵酒井忠克君 此軌道ト省線トノ離レテ居ル距離ノ一番廣イ所ハドノ位アルデセウカ

○政府委員(喜安健次郎君) 一番離レテ居リマス所ガ約一哩、十四五町デゴザイマス

○伯爵酒井忠克君 一番近イ所デ……

○政府委員(喜安健次郎君) 一番近イ所ハ矢部川驛前デゴザイマスガ、其處ハモウ續イテ居リマス、大體七八町離レテ居ル程度

デゴザイマス

○委員長(侯爵德川賴貞君) 御質問ゴザイマセヌカ、若シ……皆サンニ御諮リ致シマスガ、御異議ガナケレバ今日ハ此邊デ止メテ置キマシテ、今度本議會ガゴザイマシタ時ニ委員會ヲ開キタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ

(賛成ト呼フ者アリ)

○委員長(侯爵德川賴貞君) ソレデハ御異議ガナイモノト認メマシテ、是デ散會イタシマス

午後二時十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵德川 賴貞君
副委員長 子爵新庄 直知君
委員 伯爵酒井 忠克君
子爵綾小路 護君
男爵中村 謙一君
青木 周三君
阿部房次郎君
八馬 兼介君

國務大臣

鐵道大臣 三土 忠造君

政府委員

鐵道政務次官 名川 侃市君
鐵道省監督局長 喜安健次郎君

昭和七年六月十一日印刷

昭和七年六月十二日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局